

平成21年第4回臨時会

# 大多喜町議会会議録

平成21年 7月28日 開会

平成21年 7月28日 閉会

大多喜町議会

## 平成 2 1 年 第 4 回 大多喜町 議会 臨時会 会議録 目次

### 第 1 号 ( 7 月 2 8 日 )

出席議員.....	1
欠席議員.....	1
地方自治法第 1 2 1 条の規定による出席説明者.....	1
本会議に職務のため出席した者の職氏名.....	1
議事日程.....	1
開会及び開議の宣告.....	3
町長あいさつ.....	3
諸般の報告.....	4
会議録署名議員の指名.....	4
会期の決定.....	5
議案第 1 号の上程、説明、質疑、討論、採決.....	5
議案第 2 号の上程、説明、質疑、討論、採決.....	15
閉議及び閉会の宣告.....	17
署名議員.....	19

大多喜町第4回臨時会

(第1号)

## 平成21年第4回大多喜町議会臨時会会議録

平成21年7月28日(火)

午前10時00分 開会

### 出席議員(11名)

1番	野中眞弓君	2番	小倉明德君
3番	江澤勝美君	4番	小高芳一君
5番	苅込孝次君	6番	君塚義榮君
7番	吉野信一君	9番	野口晴男君
10番	藤平美智子君	11番	正木武君
12番	野村賢一君		

### 欠席議員(1名)

8番 志関武良夫君

### 地方自治法第121条の規定による出席説明者

町長	田嶋隆威君	副町長	酒井太門君
教育長	田中啓治君	総務課長	君塚良信君
企画商工観光課長	森俊郎君	税務住民課長	菅野克則君
健康福祉課長 子育て支援室長	花崎喜好君	建設課室長	浅野芳丈君
教育課長	渡辺嘉昭君		

### 本会議に職務のため出席した者の職氏名

事務局長 鈴木朋美 書記 小倉光太郎

### 議事日程(第1号)

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定

日程第 3 議案第 1 号 平成 2 1 年度大多喜町一般会計補正予算（第 3 号）

日程第 4 議案第 2 号 平成 2 1 年度大多喜町水道事業会計補正予算（第 1 号）

---

◎開会及び開議の宣告

○議長（野村賢一君） 皆さん、ご苦労さまでございます。

ただいまの出席議員は11名です。したがって定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これより、平成21年第4回大多喜町議会臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

(午前10時00分)

---

◎町長あいさつ

○議長（野村賢一君） 日程に先立ち、町長から行政報告があります。

町長。

○町長（田嶋隆威君） それではごあいさつ申し上げます。

本日は、平成21年第4回の大多喜町議会臨時会が開催されましたが、議員各位には悪天候の中、ご出席をいただきましてまことにご苦労さまでございます。

日ごろは町の事業推進に議員さんの立場でご協力をいただいておりますことに対し、敬意と感謝を申し上げる次第であります。

初めに行政報告でございますが、お手元にある印刷物のとおりでございますが、そのうちの中で6月24日、25日と2日間にわたりまして区長会の視察研修を行わせていただきました。行ったところは福島県の南会津町、旧会津田島の町が4町合併してできた会津町であります。視察の内容等につきましては、今、町が町内企業の事業活動や学校の教育活動にはもちろんでありますけれども、将来の大多喜町の発展に欠くことのできない光ファイバーの導入、基盤整備事業導入について視察をまいりました。

この南会津町というところは、人口が大多喜よりも多くて、合併して2万ちょっとでございますけれども、既に光ファイバーの基盤整備をして町民に利用していただいておりますこと、先進地視察ということで行ってまいりました。町で基盤整備をして、その施設をいわゆるNTTほか、そういう企業に貸し出しをして、一般の町民に利用していただくという形でありまして、現在、国が新たな交付金制度でこの事業の推進をしております。そういうことで、この事業を導入してやるのが一番のチャンスかなということで、視察をまいりました。

区長さん各位には、なかなか難しいことでご理解が十分できたかどうか、ある程度は理解していただいたと思いますけれども、これからまた町民の皆様方にご理解を願って、再度アンケートを行って、今度はNTTということよりも町として国の交付金事業を使った基盤整備をしようということで、現在、総事業費が7億ぐらいかかると言われておりますが、そのうち町の負担金が通常ですと3億2,700万ぐらいかかるということが、この交付金事業によりまして2,300万ぐらいでできるというような試算がなされております。ですからこういうことで、今後、議会の皆様方にも、ともに検討しながら、この事業導入を進めていきたいなというふうに考えておりますので、よろしくご協力のほどお願いを申し上げます。

それ以後のことにつきましては、お手元の印刷物でご了知を願いたいと存じます。

今日は、議案として2つほどございますが、いずれも補正予算2件でございます。ご審議の上、ご承認、ご可決賜りますようお願いを申し上げ、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

今日はご苦労さまです。

○議長（野村賢一君） これで、行政報告を終わります。

---

#### ◎諸般の報告

○議長（野村賢一君） 次に、諸般の報告であります。平成21年第2回議会定例会以降の議会関係の主な事項は、お配りしました印刷物によりご了承願います。

また、監査委員から例月出納検査結果の報告がありました。お手元に配付の印刷物によりご了承願います。

なお、本日の会議に8番、志関武良夫議員が所用のため欠席する旨の届け出がありました。これで、諸般の報告を終わります。

---

#### ◎会議録署名議員の指名

○議長（野村賢一君） これから日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長より指名します。

11番 正 木 武 議員

1 番 野 中 眞 弓 議員

にお願いします。

---

◎会期の決定

○議長（野村賢一君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日1日限りとすることに決定しました。

---

◎議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（野村賢一君） 日程第3、議案第1号 平成21年度大多喜町一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（君塚良信君） それでは、1ページをお開きいただきたいと思います。

議案第1号 平成21年度大多喜町一般会計補正予算（第3号）。

平成21年度大多喜町一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,325万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ40億7,699万4,000円とする。2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表、歳入歳出予算補正による。

5ページをお開きいただきたいと思います。

歳入歳出予算の説明に入る前にですね、今回の補正予算の概要につきまして、若干ご説明をさせていただきますと思います。

今回の補正につきましては、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金にかかわるものが主なものでございますが、このほか法人町民税に関しまして、確定申告によって予定納付された法人税額を精算し余剰金を還付するもの、また、教育備品及び情報通信関係の整備に関する補正でございます。

国の地域活性化・経済危機対策交付金でございますが、これは、地方公共団体が地球温暖

化対策・少子化対策への対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域の実情に応じた地域活性化に資する事業を行うために、国から交付されるものでございます。地域活性化等の着実な実施を図ることを目的に交付されるものでございまして、今回ですね、臨時議会を開催させていただくものでございます。

それでは説明でございますが、まず2の歳入、款14国庫支出金、項2国庫補助金、目4教育費国庫補助金、補正額510万円でございます。これは、理科振興備品の購入及び学校情報通信技術環境に対する補助金でございます。

目5総務費国庫補助金、補正額9,516万6,000円でございますが、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金でございます。

款19繰越金、項1繰越金、目1繰越金、補正額1,298万8,000円でございますが、これは今回の補正に要する一般財源分の予算計上であります。

次の6ページをお開きいただきたいと思っております。

3、歳出、款2総務費、項1総務管理費、目2文書広報費、補正額298万9,000円。これは現在使用しております町のホームページをリニューアル、大規模なリニューアルをするものでございます。今までは、業者によりましてホームページ等の作成をしておりましたが、今回のこの改正によりますと、職員等ができるようなシステムを採用しております。

目5財産管理費、補正額296万1,000円でございます。これは、13年ほど経過した軽ワゴン車をこの機会に連絡車として地球温暖化対策といたしまして、ハイブリッド車に買いかえるものでございます。

目8諸費、補正額279万6,000円。法人税等の予定納税分の精算による返還金が予算をオーバーいたしましたので、不足分を計上させていただきました。

款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費、補正額は、これはありませんけれども、当初予算に計上しております少子化対策事業、これは、次世代育成支援対策行動計画の作成費を当初予算で計上しておりますけれども、今回の交付金で対象となりましたので振りかえました。したがって、特定財源を一般財源から国庫補助金に組み替えたものでございます。

7ページになります。

款3民生費、項2児童福祉費、目4児童福祉施設費、補正額340万円。これは、各保育園用のピアノ2台と学童用のテレビを2台購入するものでございます。大変このピアノは古くなりましたので、この機会に買いかえをしたいというものでございます。

款4 衛生費、項1 保健衛生費、目2 予防費、補正額150万円。これはご存じのように、新型インフルエンザの今後流行を予想します対策費といたしましてですね、感染拡大用の予防マスク、防護服、手袋、消毒液等の購入を予定しております。

款4 衛生費、項3 上水道費、目1 上水道運営費、補正額1,018万5,000円。これは、水道事業会計への繰越金でございますが、水道のほうの補正もございまして、そちらでお話があるかと思えますけれども、交付金事業といたしまして、給水施設の改修や災害時用の給水車、あるいは給水タンクを購入するために繰り出しをするものでございます。

款6 商工費、項1 商工費、目2 商工業振興費、補正額150万円。これは、商工会で実施をいたしますプレミアム商品券の発行補助金でございまして、商工会へ補助金を交付するものでございます。

款7 土木費、項2 道路橋梁費、目1 道路維持費、補正額1,510万円でございます。町道の補修工事の補修用材料、ガードレール、カーブミラー等の原材料費の購入及び建設車両、バックホーの購入でございます。

次の8ページになります。

款7 土木費、項4 住宅費、目1 住宅管理費、補正額1,800万円。新丁特定団地、これはもとの教員住宅でございますが、改修の工事、屋根と外壁になりますけれども、修繕に伴う設計業務も含まれております。

款8 消防費、項1 消防費、目3 消防施設費、補正額3,705万円でございます。これは消防車、小型動力ポンプ付積載車でございますが、3台分、第1分団、16分団、18分団に設置をするものでございます。このほか、防火服、ヘルメット、長靴、活動服、ホース等の購入費であります。

目4 災害対策費、補正額480万円。災害用避難テント、防災倉庫用備蓄品、防災無線の購入費であります。

款9 教育費、項2 小学校費、目1 学校管理費、補正額564万4,000円。これは、電子黒板あるいはAED、これは自動体外式除細動器でございますが、これを各小学校へ配置するものであります。

目2 教育振興費、380万円。各小学校への理科備品の整備をするものであります。理科備品につきましては学校指導要綱が変わりまして、いずれ近いうちまでには、整備が必要になるものでございます。

次は下のページになりますけれども、款9 教育費、項3 中学校費、目1 学校管理費、補正

額142万8,000円。電子黒板を各中学校に設置するものでございます。

目2教育振興費、補正額180万円。これも、中学校2校に理科備品を整備いたします。

款9教育費、項4社会教育費、目2公民館費、補正額30万1,000円。中央公民館の視聴覚室にデジタルのテレビを整備するものとなっております。

以上で説明を終わります。

○議長（野村賢一君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

1 番野中眞弓さん。

○1 番（野中眞弓君） 8ページの消防施設費のところですが、備品購入2,790万、3台の小型ポンプ搭載車を購入する、その他という説明がありました。消防団の改編について、私、前の選挙の直後の一般質問でやって、それから正木議員がおやりになって、それから小高議員がおやりになって、今、委員会みたいなものをつくって検討中だと思うんですね。消防団員のなり手とかが少ないこととかで、これから先消防団の改編が進めば、消防車の必要台数も必然的に少なくなると思うんです。その中で今、このところに予算がこう来たということで、求めることについては額が額なので、これについては保留という考えはないのか、伺いたいと思います。

それから消防団に関してですが、つい一月ほど前、どこの資料だったかは忘れたのですが、若手が今減っている中で、OBの組織化というか、そういうものも私、前に要求しました。そうしたら何かの資料で、大多喜町ではそれを始めているという資料をちょっと見まして、それが何だったかわからないのですが、その辺の実情、OBの組、何というかこう組織化についてどういうふうに進んでいるのか、教えていただきたいと思います。

それから、今回の補正予算は、かなり備品購入ということになっていますが、経済対策を考えますと、地元はこの備品購入落ちるシステムでやるのか、経済対策として9,500万のお金に来るわけですけども、どのくらい地元に落ちる見積もりなのか伺いたいと思います。

○議長（野村賢一君） 総務課長。

○総務課長（君塚良信君） 3点ほどご質問いただきましたけれども、消防ポンプ車を保留する気はないかということのまずご質問でございますが、確かに今、消防のほうの関係につきましては、議員の皆さん方からも十分検討しろということで昨年の秋からですね、いろいろ関係者、区長さん等も交えてこのような会を立ち上げております。十分いろいろ協議してお

りますけれども、区長さんが4月以降新しくかわったということもありまして、まだ継続をして進めておりまして最終的な結論までは至っておりませんが、中には、消防の実際の団員とですね、町とよく協議をして進めろというふうなことも言われておりまして、消防団員の皆様方とですね、十分な、現在協議をさせていただいております。

当然そういうことも含めて備品購入というのも考えておりますけれども、現状ではですね、今度購入するところにつきましては地域の分団ともいろいろ話をしましたけれども、当面そこは、何とか人員は確保してですね、できるというような体制であるというふうな判断をいたしまして、今回のものは計上させていただいたつもりであります。したがって、これを保留するという考えは、現在ございません。

その次に、OBで組織をしてということの質問ですよね。これは大多喜町でもですね、そういう議員さんからも質問があった中で、そういうことを含めてOBの活動をしていただくことを進めて、いろいろ会議も進めております。実際に、中野周辺のほうの分団ではですね、何名か入っております。これにはいろいろ、それぞれの分団の実情もあるわけでありまして、そういう候補者がいても分団の中でできるだけ話し合いをしてですね、候補者がいるところについては進めていただきたいというようなことで、これからも今後進めていく方針で、今、検討委員会の中でもですね、これは十分そういう協議になっておりまして。では、どの程度の年齢までにするとかですね、そういうことは十分、今、検討しておる段階で、これも皆さんのご協力をいただいております、できるだけ確保していけるのかなというふうに思っております。

それと、経済対策として地元備品等、購入するものが非常に多いわけでありまして、これは、地元に対する経済効果がどうかということによるものでございますが、今回の予算の中ではですね、たしか3,900万ぐらいで31%ぐらい地元になろうかと思っております。とにかく地元では、消防車とかいろいろありますけれども、テレビ等もありますけれども、できるだけ地元を使ったですね、形でやるようにという国からの指示もありますので、それは十分配慮したつもりでございます。

以上でございます。

○議長（野村賢一君） ほかにございませんか。

1 番野中眞弓さん。

○1 番（野中眞弓君） まず関連で、その消防自動車の耐用年数、いつ買ってという、そういうのわかるでしょうか。



○5番（苅込孝次君） 通常のですね補正予算であれば、必要で緊急性があるから特に問題ないのですが、今回のこの補正予算については、そのような補正じゃないような気がいたしましてですね。備品購入がかなり多いわけですが、これをこのまますべて認めるということになりますと、議会の質や責任が問われるんじゃないかというふうな感じもしますので、ちょっと一言苦言を言いたいわけなんです。

9,516万6,000円の収入を、総務費では備品購入が270万を含む491万5,000円。民生費では社会福祉に225万円を、一般財源を減額して交付金で穴埋めするというものでありましたが、先ほどの総務課長さんのご説明で納得したわけなんです。今回の収入は、少し少子化予算も入っているということでもありますからそれは納得できるんですが、そのほかに福祉費で300万円を充てて備品を購入。衛生費では消耗品購入に130万。それから今度は、上水道運営費に910万円を水道会計に繰り出し、そして商工会では150万円をプレミアム商品券で買うということですが、これは納得できるんですが。土木費の備品購入においても680万円を含む2,900万円。消防費も備品購入、消防車を買うということでもありますから納得ができるんですが、これも3,500万円。災害対策費も消耗品と備品購入に450万円。教育費はこの交付金から460万1,000円、補助金を含むと970万1,000円の備品を購入するということになるわけですが。この1億円近い多額な収入が入ることを知った時点です、執行部では何か協議されたんでしょうか。

いわゆる、ただで入ったお金でありますので早い話が不労所得みたいなもので、ありがたみを感じずに各課で細切れに分散して、無理やり使ったような気がしないでもないわけなんです。この補助金の名目として地域活性化も含んでいるわけですが、その地域活性化に町の先ほどの説明では、地元還元が31%ぐらいあるということではありますが、このようにして補正予算を組まれたわけなんです。とにかく1億円近いお金が入るわけですがけれども、こんな多額な金が入るわけですから、事前にですね、本来は議会に報告されてしかるべきではないかと思ったわけなんです。

かなり備品が多いわけですが、これをこのまま全部承認ということになりますと、議会の常識・非常識、責任も問われるんじゃないかというふうな感じもするわけで、一言申し上げます。

○議長（野村賢一君） 苅込議員に申し上げます。答弁はだれに求めたらよろしいですか。今、質問の中で、答弁を求めるような発言もありましたけれども、町長かだれか発言を求めたらよろしいんですか。

町長お願いします。

○町長（田嶋隆威君） それでは、荻込議員の質問にお答えを、できるかどうかわかりませんが、お答えをさせていただきます。

景気対策で来たお金をやみくもに割り当てて使ったんじゃないか、というようなことをご指摘いただきました。全くそういうことはございません。新しく3月に予算を組むときに、各課から出てきた要望をかなり大幅に削減をして、ぎりぎりのところで予算を3月議会でご承認をいただいてスタートしたわけでありまして、そういうことが今度の景気対策の資金によりまして、少しでもそういうものが補てんできたらいいかなということ。学校の整備等々につきましても上げさせていただきましたし、また消防車の問題につきましても、中身等につきましても、いわゆる自動車ポンプを小型化にするということで3台にあれして。今までは大体十五、六年周期でこう回っていたのが、20年、19年、17年、16年というふうに延ばしながらやってきたということもあって、決して、来たお金を無理に当てはめたということは全くございません。

しかしながら、議員さんのご指摘のようにこういう問題につきましても、議会のほうにお諮りをしてこういうものに使いたいけれどもというようなことを、今後そういう場を設けて、議会とともにまた検討していったらいいのではないかというふうに思いますので、答弁をさせていただきます。

以上です。

○議長（野村賢一君） よろしいですか。ほかにございませんか。

7番吉野僖一さん。

○7番（吉野僖一君） 消防車の購入に関しましてはですね、過去に団長さんにもいろんな面でお使いあって、冬場の消防車の安全対策ということで、車を買うときにですね、タイヤをスノータイヤにしたほうがいいんじゃないかということをお話をしたことがあるんですけども、できればこの1分団、筒森とかですね、冬場凍結したりすごく危ないので、年数は確かに乗るんですけども、キロ数はそんなに乗らないので、車を購入するときにですね、一般タイヤではなくてスノータイヤで対応したほうが安全対策上いいと思うんで、その辺を検討願いたい。ほかの分団もできればね、スノータイヤのほうがいいかなということで、一言。

○議長（野村賢一君） 総務課長。

○総務課長（君塚良信君） ただいま吉野議員からスノータイヤの件がありましたので、これ

から実行していくんで予算残も出ると思いますし、そういうこれから買えるものについてはですね、そのような方向について団員の皆さんとですね、十分協議しながらですね、それがいいということであればそのような方法を是非とっていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○7番（吉野僖一君） よろしく、じゃあ、お願いします。

○議長（野村賢一君） ほかにございませんか。

4番小高芳一君。

○4番（小高芳一君） 今回の臨時交付金なんですけれども、9,516万6,000円ということの  
っておりますけれども、総額でもっと来たような話も聞いたんですけれども、総額でどのく  
らい来たのか、さらに1億4,000万とかぐらいの数字を聞いていたんですけれども、もしそ  
のくらい来ているのであれば、残りの部分はこれからということなのか、その部分はどうい  
う処置をするのかお伺いをしたいと思います。

○議長（野村賢一君） 総務課長。

○総務課長（君塚良信君） 確かにそのとおりでございます、これは、9月の補正までには  
全部整理をしようということもあります。今回でほとんど大まかに、おおよそのものはのせ  
ていただいておりますけれども、今後の景気もいろいろ見ながらですね、若干まだ余裕を残  
しております、総額では、1億4,316万6,000円というふうな割り当てをいただいております。  
これは、町の人口とかですね、予算規模とか、交付税を算定する中の細かい数値を積み  
上げてきたものになりますけれども、その額になっております。この中で、大多喜中学校の  
体育館のほうも非常に多くの経費がかかるわけでありまして、これも国の補助金をも  
らってやるんですけれども、そちらのほうの補助残といえますか、補助残を使えることにな  
っておりますので、そういうものと今後の対策をしながらですね、9月までには整理をしよ  
うという若干の余裕を残しております。ですからその分が、今申し上げた差額が当然出てお  
ります。

以上でございます。

○議長（野村賢一君） ほかにございませんか。

1番野中眞弓さん。

○1番（野中眞弓君） やはりこの経済対策臨時交付金の関連なんですけれども、住民の生活  
向上に本当にこう直接かかわるような事業もこれだとやりやすい可能性あるわけですね。い  
ろいろな声があるかもしれませんが、直接住民に今まで抑えていてできなかったこと

などもあると思います。区長会などで住民の直接の要望をやはり聞き取って、私たちがふだん暮らしている中の要望ってそんなに大それたことではありませんので、そういうものと住民生活もよくなるし、地元の業者さんにも仕事が行くというような事業がかなり組めるのではないかと思うんですね。ですから、住民自身が自分たちの要望が聞き入れられたということで、町政への信頼感とかそういうものも増していくと思うんです。ですから役場が自分たちのこの中だけではなくて、どんどん住民から吸い上げるような方策を残りの事業でとっていただけるような考えはないかどうか伺います。

○議長（野村賢一君） 総務課長でいいですか、野中さん。

総務課長。

○総務課長（君塚良信君） 総合的なものは企画のほうの政策的な計画とかいろいろあるかと思いますが、住民に直接そういうするものは福祉のほうもあるでしょうし、企画のほうにもあると思います。ちょっと財政のほうの立場からすればですね、今回たしか国の補正予算の制度が出てきたのは、なかなか国のほうで決まらなくてですね、6月20日だったですかね、国会で通って出てきたのがですね。それから7月20日前には、県のほうに出せということもありましたので、財政のほうの立場からすると、各課にいろいろ協議をかけて出していたり、協議した中でやっております、その要望の中でとりあえず入れてあります。各課から出てきたものについて、財政のほうで全部決めたんじゃないで、そういう配慮をしております。若干の残りもありますので、今、野中さんに言われた住民に直接関係のあるものといえますか、そういうものも含めてですね、9月までには考えてみたいというふうに思っております。

よろしいでしょうか。

○議長（野村賢一君） 1番野中眞弓さん。

○1番（野中眞弓君） 今度は、先ほど苅込さんから指摘があったように、本当に備品購入、備品購入というようなね、なんですけれども、例えば、安心・安全の中にこの前、19年度で終わりになった介護保険の利用料の軽減とか、それ住民にとってやはり安心・安全、それから将来の安心・安全というかね、必要な政策だと思うのですが、そういうソフト的な事業というのはこの中でできないんでしょうか。

○議長（野村賢一君） 総務課長。

○総務課長（君塚良信君） そういうものも十分検討の余地に値すると思いますけれども、それが継続してできるか、これは一時金でございますので、それが継続してできるかどうか十

分検討しないとですね。その辺は今の段階では、何ともちょっと申し上げられませんが、少子化対策とかですね、そういうものも含まれておりますので、その年だけで終わっては余り意味がないと思うんですね。できるだけだから、そういう継続ができるような方法がとればですね、そういうことも十分必要ではないかなと思いますけれども。

以上です。

○議長（野村賢一君） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

本案については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 異議なしと認めます。

これから議案第1号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（野村賢一君） 日程第4、議案第2号 平成21年度大多喜町水道事業会計補正予算（第1号）を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

水道室長。

○水道室長（浅野芳丈君） それでは、11ページを開いていただきたいと思います。

議案第2号 平成21年度大多喜町水道事業会計補正予算（第1号）。

総則、第1条、平成21年度大多喜町水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

資本的収入及び支出、第2条、予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を、次の

とおり補正する。

収入、第1款資本的収入8,134万円、既決予定額でございます。補正予定額1,018万5,000円、計9,152万5,000円。

第3項出資金、既決予定額6,696万円。補正予定額1,018万5,000円、計7,714万5,000円。

支出、第1款資本的支出2億388万5,000円、既決でございます。補正が1,018万5,000円、計2億1,407万円。

第1項建設改良費、既決予定額8,830万7,000円、補正予定額1,018万5,000円、計9,849万2,000円。

13ページをお開きいただきたいと思います。

先ほど一般会計の関係でですね、総務課長からお話ございましたんですけども、当該国の地域活性化交付金、これのですね関係を水道事業会計のほうに支出していただきまして、私どものほうで安全・安心のですね、水づくりという形で使っていくというものでございます。その内容につきましては、後でお話をさせていただきますけれども。

それでは、内容に入らせていただきます。

資本的収入及び支出、収入の部でございますが、款1資本的収入、項3出資金、目1出資金、補正予定額1,018万5,000円。節1一般会計出資金1,018万5,000円。これは、一般会計からの繰り入れでございます。

支出の部でございますが、款1資本的支出、項1建設改良費、目1配水施設費、補正予定額でございますが、585万5,000円。節34工事請負費、金額は585万5,000円でございます。加圧所のポンプ修理でございまして、設備改修工事を含んでおります。大高加圧と田代加圧でございます。この2か所を予定しております。

目2固定資産取得費、補正予定額306万円。節3車両購入費180万円、1トン車の購入をしまいたいと思います。これにつきましてはですね、今現在、軽トラがあるわけでございますが、これは平成6年の購入でございます。11万ぐらいの走行距離でございます。そのかわりに買うということでございます。

節6備品購入費126万円、給水タンクでございますが、この1トン車の上にはですね、災害時あるいは事故時ですね、施設の事故時等の給水関係、これが脆弱な関係になっておりますので、これを確かなものにしていくということで、給水車兼給水作業車それと給水タンクを購入していくものでございます。

目4浄水施設費でございますが、補正予定額127万円。節34工事請負費127万円でございます。

すが、伊保田の浄水場のろ過器ろ材の交換工事でございますが、通常ろ材につきましてははですね、10年ごとに交換をしていきますけれども、12年目になっております。そういったことで、ろ材の交換をしてまいりたいということでございます。

以上で、説明を終了いたします。

よろしくご審議をお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（野村賢一君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

本案については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 異議なしと認めます。

これから議案第2号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（野村賢一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎閉議及び閉会の宣告

○議長（野村賢一君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成21年第4回大多喜町議会臨時会を閉会します。

これにて散会とします。

（午前10時49分）

会議の経過を記載し、その相違ない事を証するため、ここに署名する。

平成21年9月29日

議 長 野 村 賢 一

署 名 議 員 正 木 武

署 名 議 員 野 中 眞 弓